

林野火災新基準に基づく山小屋防火診断・予防啓発を実施

秦野市消防本部

当市消防本部では、4月19日、表丹沢の山開き式に合わせ各山小屋に対する防火診断及び林野火災予防啓発を実施した。

当市では、令和8年1月に発生した林野火災の教訓を踏まえ、本格的な登山シーズンを前に予防課職員が山頂付近の各山小屋を巡回し、新基準発令時における山小屋及び利用者による火の取り扱いについての制限等の協力依頼を、管理者へ直接行った。行政施策と現場啓発を密接に連動させ、山岳エリアにおける実効性の高い火災予防体制の構築を図った。



消防署の花壇に植栽を行い、熱中症予防を呼びかけ

松本広域消防局

松本広域消防局では、令和8年5月27日（水）、本郷消防署において、のぼら保育園の園児及びエクセラン高校の生徒と花壇の植栽活動を実施しました。この活動は、防火防災への関心を高めるとともに、通行する方々へ憩いの場を提供するために行っているもので、今回が3年目となります。当日は、生徒が育てた彩り豊かな花々を園児と一緒に植栽しながら、熱中症予防を呼びかけるPR動画を撮影しました。この動画は当消防局公式チャンネルで公開しますので、ご覧ください。



消防通信 望楼 ぼうろう

多数傷病者事故対応訓練を実施しました！

湖南広域消防局

湖南広域消防局では、2月24日（火）に守山市民運動公園で「多数傷病者事故対応訓練」を実施しました。

車両3台が関係する事故により10名以上の負傷者が発生し、事故車両に1名が取り残されているという想定で訓練を行いました。

この訓練は、関係機関との連携強化を目的とし、済生会滋賀県病院の京滋ドクターヘリと淡海医療センターのドクターカーと現場での情報共有を確実に行之、京滋ドクターヘリとは無線を活用して連携した活動を実施しました。

訓練後の合同検証会では、現場での情報共有と相互協力の重要性について再認識することができました。

今後も各機関と連携し、多様化する災害へ対応できるよう努めて参ります。



進化する救助技術会 展望デッキ・栈敷席で実現する新しい体験

和歌山県消防長会

第54回和歌山県消防救助技術会を令和8年5月31日（日）、和歌山県消防学校で開催しました。日曜開催で一般来場者が大幅増加。

展望デッキと栈敷席を設置し、県民が間近で高度な救助技術を見学できる環境を実現しました。オープンキャンパス同時開催により、消防職員の活動をPRし、次世代人材の確保に取り組んでいます。

これらの新しい試みを通じて、県民の皆様にも身近で、わかりやすく、消防職員の活動をお伝えし、消防職員を志す若者が増加することを期待しています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】